



# 関西支部報

事 2024年3月  
No. 195

http://jac.or.jp/kns/

## 2023年関西支部会員山岳事故について

昨年5月の新型コロナの第2類から第5類への移行に伴い、それまで制限されていた活動も日常に戻りました。登山活動も日常に戻りましたが、コロナ禍の間に体力や技術力が落ちたためでしょうか、昨年は山岳遭難事故も多く発生しました。

関西支部会員においても事故が続くことになりました。注意喚起の意味を込め、個人山行ではありますが、会員本人がSNSに公開していることもあり、事故の報告を支部報に記載させていただくことにしました。

(支部長 水谷透)

### ① 重太郎新道転倒事故

発生日時 9月17日

山行人数 2名 (L、受傷者)

岳沢～奥穂南稜(バリエーションルート) 記吊げ尾襷～重太郎新道～岳沢の山行予定で、南稜の頭到着時には受傷者がかなり疲労。重太郎新道下山途中にふらつくようになり、中間部で転倒、額部を強打。L判断にて登山道上でピバーク。翌朝、受傷者をスリングで確保しながら岳沢まで歩いて下山。

### ② 重太郎新道滑落事故

発生日時 9月26日

山行人数 単独

※詳細は以下

### ③ 六甲堺川滑落事故

発生日時 12月30日

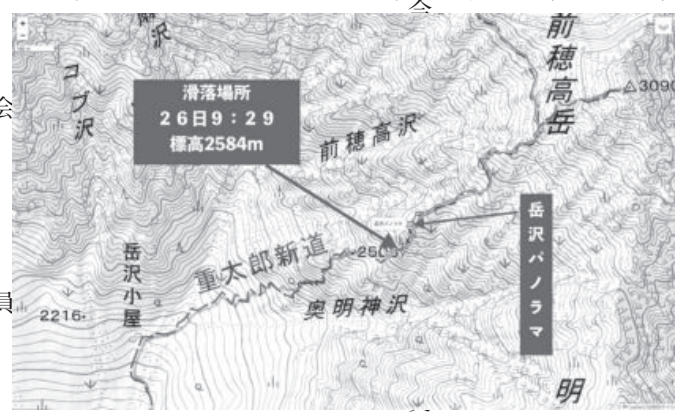
山行人数 2名 (L、受傷者)

堺川を遡行中、大滝をLがフリーで登り始め途中傾斜が急になりハーケンを打ち滝上まで登攀。受傷者を上部よりロープ確保するつもりが受傷者はすでに登り始め、登攀中に掴んでいた岩角が剥がれ滝下まで転落、歩行不能に。Lが谷を下り携帯が通じるところまで下山し消防に救助要請。ヘリにて救助搬送。

事以上のうち①、③は、196号にて事故報告予定。

### 報 塾

2023年9月26日、関西支部会員岡谷雄一郎さんが穂高岳重太郎新道にて滑落事故で骨折等の重傷を負われました(個人山行)。岡谷さん本人の報告書をもとに、『山と溪谷』や『岳人』において山岳事故遭難を扱ってきた立場から事故再発防止に向けて、論考します。(加藤芳樹)



■島崎三步の「山岳通信」第317号より

9月26日、北アルプスの前穂高岳で、単独で24日から入山していた50歳の男性が、奥穂高岳から岳沢に向けて重太郎新道を下山中にバランスを崩して滑落し、負傷する山岳遭難が発生。長野県山岳遭難防止常駐隊員および

### 集ケ然行務

然ラマ部<sup>4</sup> 3 2 1

山	4	4	6	6	10	9	9	4	4	1
会	14	13	13	11	11	10	9	9	4	1
自	14	13	13	11	11	10	9	9	4	1
ク	14	13	13	11	11	10	9	9	4	1
ヒ	14	13	13	11	11	10	9	9	4	1
支	14	13	13	11	11	10	9	9	4	1
年	14	13	13	11	11	10	9	9	4	1
関	14	13	13	11	11	10	9	9	4	1
西	14	13	13	11	11	10	9	9	4	1
に	14	13	13	11	11	10	9	9	4	1
目	14	13	13	11	11	10	9	9	4	1
次	14	13	13	11	11	10	9	9	4	1

び松本警察署山岳遭難救助隊員が出動して男性を救助した。

### ■山行スケジュール(岡谷さんのヤマレコ投稿より抜粋)

1日目	12:24	上高地バスターミナル発
	12:52	明神館
	13:36	徳澤園
	14:45	横尾
2日目	5:21	横尾
	6:17	本谷橋
	8:06	涸沢ヒュッテ
	10:37	ザイテングラート取付
	12:15	穂高岳山荘
	14:38	穂高岳
	15:24	穂高岳山荘
3日目	6:36	穂高岳山荘
	7:31	穂高岳
	8:05	紀美子平
	9:13	岳沢パノラマ
	9:29	事故発生

### ■以下、岡谷さんから関西支部に提出された報告書より

#### ◎事故発生後の対応

9/26	9:29	事故発生 両手ストックに体重かけながら下る最中、気付けば岩を滑り回転しながら滑落、1回停まり2回目さらに回転しながら滑落、ハイマツに絡まって身体止まる。出血等状況確認後、ザックから防寒具と貴重品(保険証等)のみ取出し自力で登山道へ戻る。
	9:48	長野県警連絡(110番へ再度かけ直して欲しいとの指示)
	9:53	110番連絡
	9:58	警察より位置情報確認ショートメッセージ受信→位置特定完了
	10:28	長野県警より着信、詳細情報ヒヤリングあり(通話時間18分)
	10:46	妻へ連絡
	11:04	長野県警より救助要請状況について着信あり(ヘリ救出不可隊員向かう)
	12:55	救助隊4名現場到着(救助要請から約3時間)
	13:30	ロープ確保いただきながら岳沢小屋まで自力で降りる
	15:50	岳沢小屋到着、関西支部主要メンバーへLINEにて無事を報告

16:30	隊員4名おんぶしていただき上高地登山口まで降りる
18:10	登山口到着
18:30	救急車にて松本市民病院搬送
19:30	松本市民病院着 精密検査後入院(2泊)
9/28	退院 単独にて帰神

#### ◎検査結果

左足小指骨折、左手有鉤骨骨折  
全身打撲であるが頭部内臓 異常なし(CT検査)  
全治約3ヶ月(重症)

#### ◎滑落原因(自己分析-主観)

- ・岩場での歩き方技術経験不足と過信  
岩場下りでの両手ストック多用(岳沢パノラマ前から使用)が滑落要因。長野県警グレード表D難度を事前把握していれば帰り涸沢経由のルートを選択していたかもしれない。前日まで下りルートをどうするかずっと悩み、前日25日軽装にて穂高山荘からテストで奥穂高登頂。ゆっくり着実に登ればOKと再確認。しかし26日重太郎新道最初の下りにて「これはかなり危険かも」と思うもいままさら吊尾根を引返すこともできず慎重に下る。岳沢パノラマ前後でストック使用開始。少しバランス崩す箇所あり、直後滑落。(総じて体力面ではまったく問題なし)
- ・ザック軽量化必須(事故時13kg前後か)

#### ◎教訓

- ・携帯を常に身に付ける+要充電(60%以上)
- ・貴重品まとめて取出しやすい所へ入れておく
- ・ココヘリ必須(携帯電話つながらない場合)
- ・化繊の超軽量防寒着必須(小雨程度OK)
- ・直感=素直に従うこと(前日に嫌な予感)

#### ◎計画書作成で参考にした情報

ヤマケイアルペンガイド北アルプス・槍・穂高  
北アルプス詳細地図  
ヤマレコ(ルート時間のみ)  
豊田さんアドバイス(個別LINE注意点お聞きする)

### ■事故に関する考察

岡谷さんによる報告書と、ヤマレコへの投稿、安全委員会への報告から考察します(ご本人からの聞き取りはしていません)。

#### ◎直接の滑落原因

本人も指摘されていますが、岩場でのストックの使用に尽きます。ハシゴだけでなく三点支持が必要な岩場がある重太郎新道で、通常ならザックにストックをしまいこむ(手に持って行動するのも岩や木に引っかかりバランスを崩す。ザック外部への取り付けも注意)ところを、



逆に使用し始めました。これはミスではなく、やってはいけないことでした。



### ◎スピードと技術のアンバランス

1日目、通常、3時間かかる上高地～横尾を、テント泊装備を担ぎ2時間（休憩除く）はかなり早いペースです。2日目も涸沢まで標準3時間かかるところ2時間30分。この先、穂高岳山荘までになるとほぼ標準タイムになり、10分の休憩を2回とっています。岡谷さんは足の速い人だと推察できますが、ペースが落ちたのは、ややオーバーペースだったのか、あるいはヤマレコの本人の記述を見ると、比較的難度の低いザイテングラートの岩場に「簡単とは思っていなかったけれど、なかなかです」とコメントしているので、岩場に不慣れだったのか。3日目も出発からハイペースで、難度が上がる吊尾根はやや苦勞したようですが、調子がいいと、どんどん行ってしまう傾向が見られます。岩場もこなせているうちは楽しくて仕方がなかったと思われます。

本人曰く「総じて体力面ではまったく問題なし」と、事故後にもかかわらず、体力には自信満々です。ここに落とし穴があるように思います。体力に自信があるから、ガンガン進む。岩場でストックを使用したということですから、おそらく岩場でもテンポよく歩き、斜度のある岩場もよほど切り立ってない限り、岩に背を向けて下ったのではないかと推測します。本人は「慎重に下る」と書いていますが、慎重であればバランスを崩すほどストックに体重を預けることはない。以前、親不知から縦走してきて、山行を終えようとする重太郎新道で100m以上滑落した登山者を取材しました。クライミングもこなすベテラン登山者ですが、フッと突然足元が（地面）がなくなったと本人も首をかしげました。結論としては本人がどう言おうが集中力の欠如です。長い山行のラストという気のゆるみ、早く下りたい焦り、足裏の痛みも気になる、集中力を欠くさまざまな要因がありました。

疲れてもおらず、急ぐ理由もないなら、ゆっくり一歩一歩確実に進めばよい。「自分は体力がある」という自信、

言い換えれば過信も遠因ではなかったかと考えます。

単独であったことも要因と言えます。誰かと一緒であればペースを落とし慎重になれた可能性も高く、さらに経験者と一緒ならアドバイスや注意点を聞け、ストックを出すこともなかったでしょう。

### ◎ご本人の考察について

「滑落原因」はその通りです。奥穂高山荘から奥穂高岳までをテストと称していますが、気を遣うのは最初のハシゴとその上の岩場くらいで、ここが登れてもテストにはなりません。ましてや重太郎新道は未知のルートで、比較しようがないはずですが。ザックの軽量化は、テント泊となれば最低限必要な装備があり、13kgが軽いのか重いのか評価が難しいですが、軽ければ負担が減り、リスクが軽減されるのは間違いありません。

「教訓」に挙げられている項目はすべて事故後に対する二義的なことです。第一義は、どうすれば事故を起こさなかったのか、です。ヤマレコの岡谷さんの記述を見る限りでは、重太郎新道も吊尾根も想像以上に難度が高かったようです。ということは、下調べが十分でなかったということです。ネットを検索すれば毎年のように重太郎新道で滑落が起り、死亡例があることもわかります。同年の7月には女性が滑落死、直前の17日には男性が滑落して重傷を負っています。

また、ヤマレコのタイムを参考にしていますが、投稿者の力量が分からない以上、参考にはなりません。ヤママップも同様です。行ってる人がいるから自分も行けると考え遭難する例がいくつもあります。また、アルペンガイドでは、通常登りで紹介する重太郎新道を、確かに穂高連峰縦走の下山路として紹介しています。著者の渡辺幸雄さんは慎重なガイド文を書く人ですが、その割に重太郎新道の記述があっさりしている。北穂から奥穂への縦走の難度がかなり高く、そこをこなせる力量がある人向けのガイド文だからかもしれません（グレード設定は高い）。

報告書やヤマレコの記述から総じて判断しますと、今回の事故は、近年には決して珍しくない、自信がつき始めた初心者の遭難事例と言えます。自分の力量を客観的に判断できない（ガイドブックの記述やその他の情報と自分の力量を比較する力がない）ままに、実力以上のルートを選んで計画してしまいました。穂高岳のような山では、一般ルートであっても、岩場ではどんなリスクがあるのか、地図は読めるのか（ヤマレコでは、穂高岳山荘前から見た常念岳を笠ヶ岳と書いています。常念岳は東、笠ヶ岳は西で、まったく逆）、天候に対処できるのか、

そういった総合的な登山力が必要になります。  
とはいえ、チャレンジしなければ向上はありません。

その一方で、自分の力量と経験を客観的に見つめなおし、  
山に謙虚になって経験を積むことが大事かと考えます。

## 2024年 関西支部新年会報告

高木知子

令和6年1月27日(土)大阪梅田「大東洋」にて日本山岳  
会関西支部の新年会が開催され、39名が参加されました。

まず初めに、昨年支部長になられた水谷透さんから登  
山教室を終了した会員を対象としたオールラウンドクラ  
ブと60歳未満の会員を対象としたユースクラブの山行や  
勉強会についての抱負を語られ、中村三佳さんの司会で  
宴が進行しました。

新人紹介では、経験豊富な中村治男さん、続いて準会  
員の4名、百名山をご夫婦で達成された柴田浩・桂子夫妻、  
沢登りを楽しんでおられる石田美和さん、そして山が大  
好きオールラウンドな金田基裕さんが紹介されました。

重廣恒夫さんからは日本山岳会創立120周年記念事業  
グレート・ヒマラヤ・トラバース計画についてのお話し  
がありました。

平均年齢70歳を超える関西支部ですが、頼もしい新人  
と、老いても益々元気なオールラウンドなメンバーと共  
に山を楽しみたいと思いました。

最後に茂木前支部長の一本メで令和6年新年会も和や  
かなうちに閉会となりました。

**【参加者】** 水谷 透、金井健二、新本政子、中村久住、  
金井良碩、重廣恒夫、中川和道、斧田一陽、伊原哲士、  
城 隆嗣、野口恒雄、辻 和雄、大津陸郎、黒田守彦、嶋  
岡 章、野村珠生、茂木完治、小黒節郎、山田 健、橋本  
圭之輔、永井 和、豊田哲也、岡田輝子、中村三佳、今  
井拓雄、中久保忠伸、坂口和子、江村俊也、野村 康、  
寺田昭弘、中村治男、小林又七、柴田 浩、柴田桂子、  
金田基裕、石田美和、青木 昭、宇都宮浩、高木知子

計39名

## 支部山行報告

### 1. 支部山行報告

支部山行23-38 月例会(10月)  
「キャニオニング体験」

上森文子

10月8日(日)

都合により中止。

支部山行23-39 六甲山全溪谷踏査  
「芦屋川本流(下流)」

茂木完治

10月21日(土) 晴

50年前に関西で暮らし始めた頃に真っ先に六甲の谷へ  
行った。しかし谷は堰堤工事や廃水で荒れていて失望し  
た。それが最近自然の豊かさを感じさせるようになって  
きた。その魅力に惹かれて六甲の谷を調べてみたいと思  
うようになった。本流、枝谷を合せて200本くらいだろ  
うか。その第一番目に選んだのが名のある大月地獄谷と  
か西山谷でなくてこの芦屋川であった。地図を見ると何

か期待感のある谷で、なによりも未記録に惹かれた。

城山登山口から弁天岩への右岸の登山道を歩き対岸に  
マンションがある辺りで懸垂下降20mで川原に降り立つ。  
岩壁に囲まれた逆層6mの滝を越え、続く大堰堤を右よ  
り巻いて20m懸垂した。

大釜の6m滝を右から登り、きれいな斜滝10mを左か  
ら登る。岩壁  
に囲まれた険  
悪な10m滝を  
右から巻き、  
導水路の法面  
を車道に上が  
り、資材置場  
から谷に戻る。  
大きなCSの  
ある優美な大  
釜の幅広8m  
を左から巻く  
と車道の橋が  
横切る。3m



逆層6m滝を慎重に登る。写真：茂木完治



滝を2つ越える。廊下の奥に弁天滝12mが見える所で打ち切りとした。

踏査一番目に相応しい内容のある谷だった。

**【コースタイム】**

阪急芦屋川駅9:10～城山登山口9:30～芦屋川に下り立つ  
11:00～大堰堤上13:00～道路橋15:25～弁天滝手前終了  
16:00

**【参加者】**

薦田佳一、上森文子、山内幸子、深澤優子、中村三佳、  
茂木完治 計6名

**【ヒヤリハット】**

なし

**支部山行23-41 六甲山全渓谷踏査  
「烏原川から菊水山南ルンゼ(仮称)」**

望月綾乃

10月28日(土) 晴

鶴越駅から六甲山全山縦走路を歩き、烏原川と合流して下流の取水堰堤で装備を装着して入渓する。地形図からダム分岐までは退屈な溪相なのかなと思いきや、滑があったり小さな滝や釜



烏原川本流は広大な滑が続く 写真提供：茂木完治

も連続し癒し系な雰囲気。途中、いい雰囲気の滝では座禅を組む若者が現れたり山深い場所ではお目にかかれない風景もあった。

しかし、石井ダム手前から南ルンゼに入るとガラッと溪相が変わる。大きな水タンクを過ぎた頃からひどい矢竹の藪に覆われる部分をどうにか抜け、縦走路のベンチを見た時はほっとした。

昼休憩を挟み、縦走路と交差してルンゼルートに登り始めるが、ベンチのある所から上は登山道整備中のようで藪払いもしてありとても歩きやすかった。

ルート上にはムカゴやアケビも見受けられ、手の届く範囲にあったムカゴを採取しながら進む。

しかし、予定していた菊水山南ルンゼの入り口がわからず、やや西側のよく踏まれたルートを菊水山山頂へと向かう。距離もわずかと思いきや思いのほか急登で汗水垂らしながら山頂へ。通じていい天気、山頂から見えた神戸港に感動した。

千葉出身で、初めての六甲山域の山行が今回の六甲山全渓谷踏査だったが、現地に行ってみないとわからない楽しみがあり、また参加したいと思った。

**【コースタイム】**

神電鶴越駅9:10～取水堰堤9:40～菊水山南ルンゼ合流点  
11:35～菊水山14:20～神電鈴蘭台駅15:20

**【参加者】**

茂木完治、薦田佳一、望月綾乃 計3名

**【ヒヤリハット】**

笹藪があり、ダニにやられました。

**支部山行23-42 沢登り例会**

天候不良のため中止

**支部山行23-43 青春ハチマル山歩き 関西の巨樹巡り  
「篠山街道の巨樹達を訪ねる」** 黒田守彦

11月2日(木) 晴

JR福知山線柏原駅に10時集合。参加14名の平均年齢81才。簡単な自己紹介後、柏原町内の巨樹に向かって出発。城下町の整った町並みを見ながら約5分で最初の巨樹に到着した。兵庫県指定天然記念物の推定樹齢1000年の大櫨は、傍の奥村川をまたいで10mの橋になっていて「木の根橋」と呼ばれている。樹高25m、幹周り6.4m。

記念撮影後、鐘ヶ坂公園までジャンボタクシーで移動し、公園で準備体操をして出発。ゆっくりと絶妙のペースでジグザグ道を上り、鐘ヶ坂峠から金山540m、明智



木の根橋 写真提供：前田正彰

光秀が築いた山城跡の頂上に着き昼食。15分移動して「鬼の架け橋」で集合写真。巨岩の間に平らな岩が橋のように架かっていて、元気者5～6人が架け橋まで上がった。篠山側の追入(おいれ)登山口に下り、篠山街道を南下し、2本目の巨樹、追手神社の「千年モミ」に到着。国指定天然記念物、樹高34m、幹周り7.8m(日本第2位)。見事で迫力がある。

ここからは、刈り取られた稲のひこばえの田や黒豆の畑や柿などの田園風景が広がる秋日和の篠山盆地の「丹波の森街道」をひたすら南下し、神田神社(幹周3mの大きな樅あり)とローソン長安寺店にて小憩。

3本目の巨樹は丹波篠山市の「寸原の大櫨」。県指定郷土記念物、樹高15m、幹周り8.5m。枝ぶりが雲竜型で、高さは低いが、幹回りが凄く太い。最終、JR丹波大山駅で、解散した。

#### 【コースタイム】

JR柏原駅10:00～木の根橋10:30～鐘ヶ坂公園11:05～鐘ヶ坂峠12:00～12:50金山13:15～鬼の架け橋13:30～追手神社14:45～神田神社15:20～寸原の大櫨17:00～17:20JR丹波大山駅

#### 【参加者】

茂木完治、新本政子、久保和恵、薦田佳一、辻和雄、橋本圭之輔、前田正彰、松村文子、池尻英明、金川清弘、小林三喜男、田頭夏子、中田栄、黒田守彦 計14名

#### 【ヒヤリハット】

スズメバチにまとわれた。

### 支部山行23-44 六甲山全溪谷踏査 「平野谷左岸大支流」

柴田 浩

#### 11月5日(日) 晴

この谷は平野谷本流の標高150mにある大滝の左岸から合流する支流である。旧有馬街道の平野橋バス停で下車し、交通量の多い車道を少し歩き平野林道に入る。いきなり随分古そうなトラックが2台落ち葉に埋もれていて、これから行く溪谷の秘境さが想像できる。

しばらく林道を峠まで歩き、七三峠への登山道分岐から平野谷へ下る。すぐに大滝に到着。滝の落ち口から下を覗いても滝の全容が解りづらく、上段25mの滝は20mのロープを2本つなぎ懸垂下降で降り、残り5mは、茂木さんがハーケンを打ちロープで安全確保をして下る。下段20mの滝も20mのロープを2本つなぎ懸垂下降で降りる。

降りてきた滝を谷から見上げると2段の大滝の全容が

分かり、日が差し紅葉も綺麗で立派な滝だった。滝の2段目の落ち口まで戻り、綺麗な滝を眺めながらのんびり昼食。ここから左岸大支流を登る。

いくつもの涸滝、斜滝、滑床、苔むし



平野谷本流の2段40mの滝 写真提供：茂木完治

た大きな堰堤等を超えて涸れ沢を詰める。人が入っていない溪谷なので道はなく、下から堰堤を巻く時には、左右どちらから巻くか、どこを通過して登るか、登った所はどうか見極める事等、読図の大事さが分かった。

尾根から左岸小支流を下る。落ち葉で滑らない様に注意して、いくつもの堰堤を巻き、桃木バス停まで歩く。

天気は快晴、暖かく紅葉もきれいで、大自然を堪能させてもらった。

#### 【コースタイム】

峠10:20～大滝上10:40～大滝下11:50～大支流に入る12:10～尾根14:00～林道に戻る14:50～峠15:00

#### 【参加者】

茂木完治、豊田哲也、深澤優子、柴田桂子、柴田 浩

計5名

#### 【ヒヤリハット】

再度川の支流へ下るつもりが平野川に下ってしまった。

### 支部山行23-45 わんぱく探検 「五月山(千代山314.9m)」

荻部聖子

#### 11月12日(日) 曇

阪急池田駅より山内さんに街並みをご案内いただきながら集合場所へと向かう。今回は11家族子供21名、スタッフを含め総勢50名の参加。豊田リーダーの事前説明、体操を終え、1家族につき1名のスタッフがサポートして「大文字コース」を歩き始める。

途中、登山者とのすれ違いやドライブウェイを横切る箇所等安全確保に努めながら、歩みを進める。リーダーより、道中でどんぐり2個の入手を命じられた子供達は、どんぐり拾いに夢中だ。このミッションが功を奏し子供



達は飽きることなく高度を上げていく。山頂にて昼食後、親子で野外ゲーム。動物の貯食をテーマにした「ごちそうをさがせ」。4チームに分かれ、拾い集めたどんぐりをフィールドに隠して別のチームが見つけるゲーム。親子共に真摯に取り組み学びの多い時間となる。余ったどんぐりは奈良公園の鹿の餌に。下山は「炭焼き小屋コース」。五月平展望台より池田市内を見下ろす。麓の緑のセンター芝生の広場にて体操後、解散。

子供達は鬼ごっこをしたりと余力がある。危機管理に注意を払いつつ声掛けをし、無邪気な子供達からパワーを貰え、有意義な一日となった。子供達が山歩きに興味を抱く取っ掛かりとなりますように。



**【コースタイム】**

公園案内所10:45～12:20山頂～14:05五月平展望台～14:40緑のセンター

**【参加者】**

豊田哲也、山内幸子、中久保忠伸、茂木完治、薦田佳一、久保和恵、上森文子、辻 和雄、鷺本晴香、苅部聖子、会員外40名(子ども21名、保護者他19名) 計50名

**【ヒヤリハット】**

3歳児が飴を喉に詰まらせた。子ども対象の行事では山岳事故以外のリスク対応が必要。

支部山行23-46 月例会(11月)

「生駒古道・辻子谷越、宝山寺参道、暗峠」

山崎 詮

11月19日(日) 晴

今回の山行は大阪と奈良の府県境にある生駒山の古道を辿る計画だ。昔は宝山寺への参詣道として盛んに歩かれていたが、ケーブル線や車道が開かれてからはほとんど歩かれなくなり、現在は一部を除いて廃道になっている。

石切駅改札口に集合し出発。辻子谷を登る。舗装道で

歩き易いが傾斜がきつい。道の脇には優しげな石仏様が励ましてくれるように並ぶ。道が左岸から右岸に渡り、しばらく登ると真言宗の古刹興法寺がある。辻子谷の源流の一つである三杉大明神に立ち寄った後、石畳の道を登りつめて山頂下の駐車場に出る。宝山寺の経本を納めた経塚は、駐車場の横にあり、本日メインの『古道巡り』はここが起点だ。

経塚からケーブル線を越えて五辻までの間は廃道になっていて、荒れた沢筋や藪の中の赤テープを頼りに歩く。鶴林寺跡までの道は比較的歩き易い。それを過ぎると再び踏み跡は不明瞭になる。樹の枝先に巻かれた赤テープを探しながら進む。竹林の藪を乗り越えて信貴生駒スカイラインに出る。道路に沿って少し下ると生駒縦走路がある。縦走路に入りしばらく辿ると暗峠に着く。峠から美しい樹林が広がる府民の森を越え「森のレストハウス」で昼食を取った。府民の森に登り返し神津嶽コースを下って枚岡駅に下山する。

生駒古道はコースのほとんどが広葉樹の森に包まれていて「大都市の近郊でこれほどまでに深く静かな山歩きができるとは！」と感動を新たにす。参加者全員を安全に導いてくださった野村さん、コースの下見や史跡の下調べをしてくださった岩崎さんに感謝する。

**【コースタイム】**

石切駅8:20～興法寺9:30～経塚10:10～五辻11:05～鶴林寺跡11:30～暗峠12:35～森のレストハウス13:00～枚岡駅15:10

**【参加者】**

野村 康、岩崎しのぶ、久保和恵、新本政子、山西和美、山内幸子、辻 和雄、永井 和、松仲史朗、井川浩彰、岡野武司、苅部聖子、山崎 詮 計13名

**【ヒヤリハット】**

なし



うつぶせ地蔵にて 写真提供：野村 康

支部山行23-48 六甲山全溪谷踏査  
「苧川谷左俣」

茂木完治

参加者なしのため中止

支部山行23-50 第32回山岳古道調査  
「智頭往来」釜坂峠・志戸坂峠

永井 和

12月9日(土) 晴、10日(日) 晴

現在智頭急行が走っているルートは、古代から山陽と山陰を結ぶ因幡街道が通っており、鳥取側では智頭往来または上方往来と呼んでいた。今は国道・県道に置き換わっているが、釜坂と志戸坂の二つの峠越にはまだ古道の面影が残っている。

9日、佐用町の平福から新田坂をこえ釜坂峠に向かった。気温は15度を越え、歩いていると暑い。「お通の茶屋」のある峠を過ぎると、宮本武蔵にまつわる史跡が多い武蔵の里に入る。本陣が置かれた大原宿を見たあと、今日の宿あわくら温泉元湯に鉄道で向かう。

10日、早朝元湯を出て志戸坂峠へ。歴史の道百選の峠道は幅広く、石垣で保護され、一定の勾配を保ちつつジグザグを切って登って行く。峠の開鑿碑は、この道が明治時代に整備されたことを物語る。峠道を下りきると鳥取自動車道の志戸坂トンネルの横に出て、そこから先は国道373号を歩く。部分的に旧道が残っており、道標の案内にしたがって歩くことができる。恋山形駅で解散後、野村と永井は智頭まで歩いた。



志戸坂峠にて 写真：永井 和

## 【コースタイム】

9日 平福駅9:50～江川神社12:25～釜坂峠13:50～武蔵神社14:30～大原宿15:40～15:56大原駅 10日 あわくら温泉元湯7:33～志戸坂峠9:50～福原PA12:00～中原観音堂12:32～13:21恋山形駅

## 【参加者】

野村 康、新本政子、宇都宮浩、苅部聖子、薦田佳一、水谷 透、山内幸子、永井 和 計8名  
【ヒヤリハット】

なし

支部山行23-51 道迷い講習会  
「遭難学エキスパートの地図とコンパスの実技講習」

長谷川公樹

12月23日(土) 晴

安全登山には『地図読み』は必須と思っていましたが、教わる機会もなく自己流でやっていました。今回、日本山岳会に入会し、一番最初の講習が『道迷い講習会』でした。これまではコンパスで北を

目的地へ向かって磁石と地図を頼りに進む  
写真提供：茂木完治

確認するくらいでしたが、道迷いしたときはアナログでの地図読みは必須だと思っていました。おぼろげながら等高線の見方等は知っていたつもりでしたが、先生から基本的な地図の見方、コンパスの使い方、地図記号等を教わり、私の知識が全く無かったのを痛感しました。進むべき角度と言われても、地図やコンパスをクルクル回して、私の頭もクルクル回転して、難しかったです。

当講習の最終課題として角度を確認して道なき道を直進する通称『藪漕ぎ』をしました。最初は先輩の受講生の方の後について行きましたが、先頭の方の藪ぎ倒した藪を歩いていたので比較的歩きやすかったのですが、志願して先頭を歩くと、一言『大変』でした。藪の中には棘のあるツルがあり、ツルに引っかかり、蜘蛛の巣に引っかかりで身動きが取れませんでした。何とか藪をかき分け、登山道に出て基点の直近にゴールできた時は達成感がありました。

今回の講習は道迷いの場合でも危険回避できる知識が身に付き本当に楽しく、勉強になりました。また機会がございましたら、ぜひまた参加したいです。



**【コースタイム】**

JR道場駅9:10～羽東川橋11:20～三叉路14:27～下降開始点14:59～終了点15:46～JR道場駅16:35

**【参加者】**

青山千彰、上森文子、望月綾乃、小林又七、永井 和、茂木完治、長谷川公樹 計7名

**【ヒヤリハット】**

なし

支部山行23-52 六甲山全渓谷踏査  
「堺川(事故報告)」

茂木完治

**12月30日(土)曇**

堺川は須磨浦公園の旗振山252.6mに南から突き上げている谷です。10:40頃に、Aさん(60代)が大滝で5m滑落しました。救助を要請し、ヘリコプターで神戸市内の病院へ搬送されました。下肢の骨折などの重傷でしたが、幸い命には別状ありませんでした。当面六甲山全渓谷踏査を中止いたします。

事故原因の調査、安全対策の策定を行っていますので、後日事故報告書を提出させていただきます。

**2. ヒマラヤ登山塾**

23-53 第18回ヒマラヤ登山塾  
「GHT 4 th 詳報=今西壽雄の立ったナムン峠」  
重廣恒夫

**12月24日(日) 於：大阪梅田第2ビルB4**

第4回目は中央ネパール ガネッシュ山群～マナスル山群～アンナプルナ山群及びナムン峠を踏査した。

ガネッシュ山群はネパールとチベット自治区の国境に近い位置にある。出発点にあたるシャプルベシはランタンに向かうトレッカーは多いが、西方に向かう人は少なく途中で逢ったトレッカーは3パーティ7人だけであった。

マナスルエリアに入ると行き交うトレッカーは増えたが、ほとんどは欧米人で日本人は4人だけだった。サマの村から見上げたマナスルは貴婦人のごとく凜としていた。

ナムン峠はアンナプルナサーキットからは外れるが、1953年に今西壽雄さんがアンナプルナⅡ峰からⅣ峰に転進する際通過をしており、峠からマナスル3山の写真を

撮っていたこと、標高の間違いを指摘していたことに加え、最近になって地図のルート表示の間違いが指摘されていたことで、GPSを使った確認作業をおこなった。3千年前にチベットの人たちが南下した際に通過した歴史ある峠であった。

アンナプルナサーキットに入るとさらに多くのトレッカーが往来していた。ムクチナートでは支部設立10周年記念で、ダウラギリBCトレッキングをされた群馬支部の人たちに逢った。

**【参加者】**

池尻英明、魚津清和、岡田輝子、小黑節郎、賀集 信、加藤芳樹、豊田哲也、永井 和、中川委紀子、中村三佳、野村 康、橋本圭之輔(以上関西支部)、中谷康司(本部)、味岡四郎、飯田邦幸、吉井 修(GHTPJ)、岩田修一(大阪府岳連)、久行雄大、久行尚子(登山教室)、四方寛之、西岡陸子(元登山教室)、重廣恒夫 計22名

**3. クライミング**

支部山行23-40 クライミング初級  
「六甲・蓬莱峡」  
江村俊也

**10月26日(木) 晴**

蓬莱峡大屏風にてクライミング練習

**【参加者】**

深澤優子、江村俊也 計2名

**山行ひろば案内**

ひろばに気楽に集まり仲間の交流と親睦を深めましょう。飲み物フリーです。

**5月22日(水)**

場 所：ルーム(ズームによる参加可 事前に茂木まで連絡ください)

時 間：19:00～21:00

**山行ひろば報告**

11月29日(水) 19:00～21:00

参加者：8名

ルーム：茂木完治、豊田哲也、中久保忠伸、竹島翼、小黑節郎

ズーム：立野里織、田中健(北海道支部)、山内忠(北海道支部)

2024年5月に行う台湾の沢登りの打合せをしました。

支部山行23-47 クライミング初級  
「六甲・蓬莱峡」

江村俊也

11月23日(木) 曇のち晴

蓬莱峡大屏風などでクライミング練習

## 【参加者】

深澤優子、金田基裕、上森文子、竹島翼、望月綾乃、江村俊也、蓮沼公太(会員外) 計7名

支部山行23-49 クライミング初級  
「六甲・蓬莱峡」

江村俊也

12月3日(日) 晴

蓬莱峡大屏風などでクライミング練習

## 【参加者】

吉村恵利、金田基裕、上森文子、望月綾乃、柴田浩、柴田桂子、鷺本晴香、江村俊也 計8名

## 4. 自然保護行事報告

令和5年10～12月  
「本山寺山森林づくりの会」活動報告

武田壽夫

◆日時：10月5日(木) 9:30～15:00 晴

活動エリア：44 林班い

活動内容：A-1 地域環境保全タイプ（里山林保全;倒木処理、林床整備）

参加者：石田美和、斧田一陽、工藤貴士、黒山泰弘、

竹歳三喜子、武田壽夫、田村綾子、寺田昭弘、当山清之、中川義行 計10名

◆日時：10月15日(日)9:30～13:30 晴のち驟雨

活動エリア：44林班い

活動内容：A-1 地域環境保全タイプ（里山林保全;倒木処理、林床整備）

参加者：猪川 誠、大本孝子、斧田一陽、黒山泰弘、武田壽夫 計5名

◆日時：10月26日(木)9:30～15:30 晴

活動エリア：44林班い

活動内容：A-1 地域環境保全タイプ（里山林保全;倒木処理、林床整備）

参加者：猪川 誠、斧田一陽、菊山美紀子、工藤貴士、黒山泰弘、武田壽夫、当山清之 計7名

◆日時：11月2日(木)9:30～15:00 晴

活動エリア：44林班い

活動内容：A-1 地域環境保全タイプ（里山林保全；倒木処理、林床整備）

参加者：猪川 誠、石田美和、斧田一陽、菊山美紀子、平 真美、武田壽夫、竹歳三喜子、寺田昭弘、当山清之、中川義行、山本國夫 計11名

◆日時：12月7日(木)9:30～15:00 晴

活動エリア：45 林班ろ-04、

活動内容：A-1 地域環境保全タイプ（里山林保全;倒木処理、林床整備）

参加者：猪川 誠、石田美和、斧田一陽、黒山泰弘、

## 熊野古道集中山行の参加方法について

会報『山』1月号の案内にありますように、5月の熊野古道集中登山の募集が始まりました。

集中登山は、会員が個人単位で参加できるコース（中辺路2ルート）と、支部単位で参加するコース（小辺路2ルート、大峰奥駈道1ルート）とに分かれています。

中辺路ルートに個人参加を希望される方は直接本部ホームページからお申し込みください（メール・FAX可）。なお、申込み後に関西支部古道調査担当(永井)にもお知らせください。

関西支部が支部として参加するのは、小辺路のみで、高野山から熊野本宮まで歩くA班と十津川温泉から熊野本宮まで歩くB班とに分けます。A班は選抜とし、B班のメンバーを募集します(10名程度)。

B班：5月17日十津川温泉に宿泊し、18日果無峠を越えて熊野本宮まで（懇親会に参加される場合は、18日夜に勝浦の浦島ホテルにもう1泊）。

集中登山全体の締め切りが3月末日ですので、B班に参加を希望される方は至急永井まで申し込んでください。その際、懇親会への参加の有無もあわせてご連絡ください。



倉谷邦雄、竹歳三喜子、工藤貴士、武田壽夫、平 真美、  
寺田昭弘、当山清之、中川義行 計12名

◆日時：12月17日(日)9:30～15:30 晴

活動エリア：45 林班ろ-04(AM)、45 林班に-01(PM)  
活動内容：A-1 地域環境保全タイプ(里山林保全;倒木  
処理、林床整備)  
参加者：猪川 誠、斧田一陽、大本孝子、工藤貴士、  
黒山泰弘、倉谷邦雄、武田壽夫、田畑宏司、原 剛史、  
中川義行、山本國夫 計11名

東おたふく山草原復元活動

田島聖子

◆日時：11月18日(土)

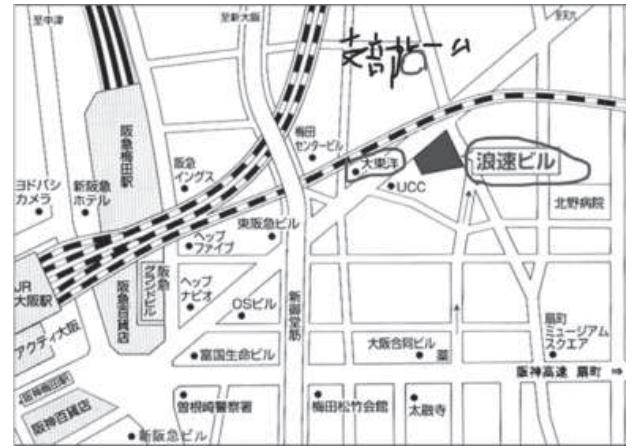
天候不良の為、中止

◆日時：12月9日(土) 晴

活動内容：刈払い機と手刈りでA1・A2エリアのササ  
の全面刈りと集積  
参加者：菊山美紀子、田島聖子 計2名

令和6年 関西支部総会のご案内

日時：2024年4月24日(水) 18時30分～  
場所：浪速ビル東館地下1階会議室  
大阪市北区万歳町4-12 ☎06-6312-6948  
議 事：令和5年度 活動報告、会計報告  
令和6年度 活動計画、予算  
懇親会：大阪梅田「大東洋」19時30分～  
☎06-6312-7525  
会 費：6,000円  
\*同封のハガキに63円切手を貼り4月17日迄にお申  
込みください。  
連絡先：中久保忠伸 ☎090-1449-3667



2024年4月～6月 山行委員会行事案内

※後尾に申込み先連絡先掲載【いずれも締切厳守】

24-01 例会(4月)

「桜咲く大洞山」  
日 時：4月6日(土)JR天王寺駅東口7:30集合  
コース：桔梗平登山口～大洞山～倉骨峠～桔梗平登山  
口～三多気の桜鑑賞  
※桜の状態により尼が岳に変更あり  
申込み：3月30日迄(担当：井川浩彰)  
詳細は担当者にお問い合わせください

24-02 山の花を巡る(4月)

「金剛山でカタクリ」  
日 時：4月14日(日)南海河内長野駅3番バス乗り場  
8:20集合  
コース：ロープウェイ前～カタクリ尾根～山頂～文殊  
尾根～ロープウェイ前  
申込み：4月7日迄(担当：上森文子)

24-03 青春ハチマル山歩き 関西巨樹巡り

「室生寺最大天神杉と仏隆寺千年桜、高井千本杉」

日 時：4月19日(金)近鉄室生口大野駅9:10集合

コース：室生寺～唐戸峠～仏隆寺～高井千本杉～赤埴口バス停

申込み：4月12日迄(担当：茂木完治、申込みは岡田輝子)

※AEDレンタルのため千円/人をご協力ください

#### 24-04 索道のある山を楽しむ

「賤ヶ岳とリフトを楽しむ」

日 時：4月20日(土)JR北陸本線河毛駅9:20集合

コース：山本山～賤ヶ岳～リフト～木ノ本駅

申込み：4月15日迄(担当：松仲史朗)

#### 24-05 第36回山岳古道調査

「因幡交流鉄の道小通峠・大通峠」

日 時：4月27日(土)～28日(日)

コース：吉川～小通峠～大通峠～三室山登山口

申込み：4月10日迄(担当：永井 和)

詳細は担当者にお問い合わせください。

#### 24-06 台湾沢登り(90周年記念事業)

「台北近郊の谷巡り」 ※194号参照

日 時：5月2日～5月7日

コース：台北～三光溪～台北～頭前溪～台北

担 当：茂木完治

#### 24-07 山の花を巡る(5月)

「金剛山でニリンソウ」

日 時：5月10日(金)南海河内長野駅3番バス乗り場  
8:40集合

コース：金剛登山口～タカハタ道～山頂～お花畑～細尾谷～ロープウェイ前

申込み：5月5日迄(担当：上森文子)

#### 24-08 第37回山岳古道調査

##### 申込み先一覧

井川浩彰	ikawa@sensyu.ne.jp
上森文子	09088225321@docomo.ne.jp
岡田輝子	smiler8823teruko@true.ocn.ne.jp
寺田昭弘	czg01500@ybb.ne.jp
豊田哲也	zat04126@nifty.com
中久保忠伸	tadanobu3772822@gmail.com
中村三佳	semii@nifty.com
永井 和	nagai.kazu@gmail.com
松仲史朗	mgjqk966@ybb.ne.jp
茂木完治	kanjimotegi1370@gmail.com
関西支部	kansai.jac@canvas.ocn.ne.jp

「熊野古道小辺路・果無峠越」

日 時：5月17日(金)～19日(日)

コース：十津川温泉～果無峠～熊野本宮～勝浦

申込み：3月24日迄(担当：永井 和)

詳細は担当者にお問い合わせください。

#### 24-09 青春ハチマル山歩き 関西巨樹巡り

「高野山奥之院の巨樹巡り」

日 時：5月21日(火)ケーブル高野山駅10:10集合

コース：奥之院バス停～姑射山～摩尼山～黒河峠～奥之院～奥之院参詣路～一の橋口バス停～ケーブル高野山駅

申込み：5月14日迄(担当：茂木完治、申込みは岡田輝子)

※AEDレンタルのため千円/人をご協力ください

#### 24-10 例会(5月)

「行者と行く友が島・虎島」

日 時：5月26日(日)加太港10:00集合

コース：友ヶ島野奈浦棧橋～深蛇池～虎島序品窟と観念窟～野奈浦棧橋発16:30

※観念窟は参加者による

申込み：5月19日迄(担当：寺田昭弘)

#### 24-11 例会(6月)

「神戸居留外国人が歩いた道」

日 時：6月1日(土)新神戸駅トレイルステーション  
神戸9:00集合

コース：新神戸駅～市ヶ原～ドントリッジ～森林植物園～谷上駅

申込み：5月24日迄(担当：中村三佳)

#### 24-12 西国三十三所めぐり

「紀三井寺と粉河寺」

日 時：6月2日(日)JR紀三井寺駅9:59集合

コース：西国第二番紀三井寺～JR紀三井寺駅～JR粉河駅～西国第三番粉河寺

申込み：5月28日迄(担当：松仲史朗)

#### 24-13 山の花を巡る(6月)

「岩湧山でフナバラソウ」

日 時：6月9日(日)南海河内長野駅7番バス  
乗り場8:15集合

コース：滝畑ダム～千石谷林道～岩湧山～ボ谷～天見駅

申込み：6月2日迄(担当：上森文子)

#### 24-14 第38回山岳古道調査

「高野山黒河道・女人道」

日 時：6月15(土)～16(日)



コース：橋本～高野山(泊)～女人道～高野山駅  
 申込み：6月5日迄(担当：永井 和)  
 詳細は担当者に問い合わせてください。

5月25日(土) 丹生山系柏尾谷  
 6月8日(土) 金剛山石ブテ谷  
 7月13日(土) 六甲(高座川)地獄谷

2024年(4～7月)

## ステップアップ登山教室 一般募集

(会員・準会員・会友も参加可能)

申込先：中久保忠伸、豊田哲也(2人で担当)  
 受講料：4か月で8,000円。座学受講時振込票手交。  
 ※詳細については関西支部ホームページをご覧ください。

- ・登山教室座学 4月13日(土)
- ・初級(登山に必要な知識・技術・体力養成)  
 5月11日(土) 叶山～井谷ノ峰～学文峰  
 6月1日(土) 岩湧山  
 7月6日(土) 青根ヶ峰～吉野
- ・中級(初歩の沢歩き、岩場の通過と登攀具の使用)

- ・上級(初歩の岩登り)  
 5月12日(日) 蓬莱峡  
 6月6日(木) 六甲・ゲートロック  
 7月11日(木) 蓬莱峡  
 ※上記とは別に7月より入門コースを開講
- ・入門コース(これから山登りを始めたい人向けの登山教室)  
 受講料：1回当たり2,000円  
 担当：重廣恒夫  
 7月6日(土)座学(山登りを楽しむコツ、山登りに必要な知識と技術、山登りに必要な装備、山の歩き方)  
 8月、9月は実技を実施予定

## 2024年4月～6月 自然保護行事案内

- ◆本山寺山森林づくりの会(原則第一木曜、第三日曜 随時臨時活動日あり) 4/4(木)・21(日)、5/2(木)・19(日)、6/6(木)・16(日)  
 集合はJR京都線高槻駅北側アルプラザ前8時40分集合
- ◆東おたふく山草原復元活動  
 4月6日(土)：早春のネザサ刈り  
 5月15日(水)：春のモニタリング及び外構部のササ刈り

問い合わせ ほか

斧田一陽(全般)  
 ☎/FAX 072-633-6556、090-4037-4542  
 武田壽夫(本山寺山の森) ☎090-2042-9101  
 田島聖子(東おたふく山) ☎078-411-3837  
 締切：開催日の2週間前まで

## ◎スケッチ同好会◎

### 【報告】

第57回 肥後橋～中之島公園

日時：2023年11月20日(月)

参加者：岩崎しのぶ、

岡田輝子、  
 金井良碩、  
 苅部聖子、  
 久保和恵、  
 薦田佳一、  
 高木知子、  
 田頭夏子、  
 野村哲夫、  
 播戸日出生、  
 松上美代子、  
 宮野 章、横山規江



シェ・ワダ高麗橋本店 野村哲夫 画

計13名

### 【案内】

第60回 合宿

日時：2024年5月7日(火)～5月9日(木)

行先：上高地 山研

交通：JR線利用・バス

費用：約35000円(JRその他 山研、自炊費用)

申込み：3月31日迄(担当：河野直子)

メール yamaboushi2352@gmail.com

電話 090-6960-9998

第7回 スケッチ同好会 グループ展

日時：2024年6月18日(火)～6月21日(金)

会場：大阪市立総合生涯学習センター、ギャラリー B  
 (大阪駅前第2ビル5階)

## 特別編集 春山 2024

全国7エリア徹底ガイド

発売中

★モンベルのウェブサイト、全国のモンベルストアや書店にて発売中!

岳人の年間購読が断然おトクに!

年間購読通常特典

購読割引

送料無料

限定品プレゼント

さらに

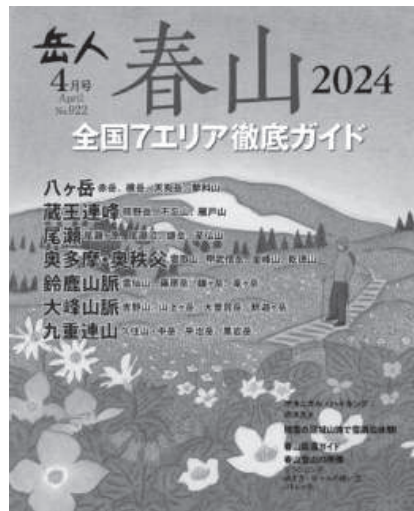
モンベル  
クラブ  
会員さまには

モンベル  
ポイント

5,000P プレゼント!

モンベルクラブ会員さまで、現在年間購読中の方は、次回継続時に5,000ポイントをプレゼントします。

価格:1,100円(税込)



年間購読のお申し込みはこちらから!>>>

<https://www.gakujin.jp/>



全国の  
モンベルストア  
でも受付中!

お問い合わせ

モンベルポスト



0120-982-682 / TEL 06-6538-5797

※フリーコールは携帯・IP電話からはご利用いただけません。

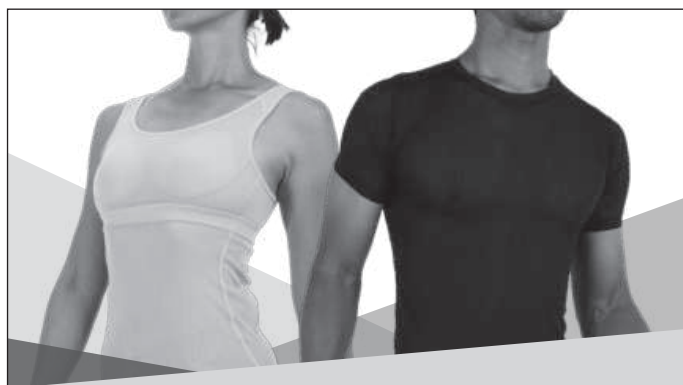
### BLUE ICE ワディ22L ¥15,950

マルチピッチで使えるシンプル  
なクライミングバック。1000デ  
ニールで抜群の耐久性。



- カラビナ付きロープストラップは  
ビレイ時にも使用可能
- ヘルメットホルダー付属
- アックス/ポールキャリア付属
- 選べるカラー3色
- 15L、32Lも展開あり

輸入元:(株)ケンコー社 TEL:06-6374-2788



この1枚が、登山を変える。

## DRY LAYER®

finetrack®

ドライレイヤー 検索

#### 〈編集後記〉

☆2月号の『山』で、九州の浦一美さんが亡くなられたことを知りました。昔『山と溪谷』の遭難特集で、ジャンダルムの西、豊岩あたりで起こった滑落遭難の取材で、ちょうどそこに浦さんがおられて現場を仕切られたと入院中の遭難者に聞き、お電話してお話を聞きました。その後、九州に行った折りに、経営されていた登山用品店ラリーグラスにお邪魔し、よもやま話に花が咲きましたことを思い出します。ご冥福をお祈りします。(加藤)

第195号 2024(令和6)年3月10日 発行

発行所 〒530-0015 大阪市北区中崎西1-4-22

梅田東ビル 3階 304号室

公益社団法人 日本山岳会関西支部

e-mail: kansai.jac@canvas.ocn.ne.jp

郵便振替口座 00930-6-55950

発行者 水谷 透

編集 加藤芳樹 上森文子 坂田洋子 中村三佳

制作 株式会社 双陽社 大阪市北区堂島2-2-28



私たちは  
人と自然をつなぐ道具を  
提案します。

IWATANI PRIMUS

イワタニ・プリムス株式会社

www.iwatani-primus.co.jp

〒103-0011 東京都中央区日本橋大伝馬町14-17